

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年 7月19日 (木)

### 2 確認箇所

- ・ 1～3号機建屋廻り
- ・ T.P. 33.5m盤分解点検ヤード

### 3 確認項目

- (1) 平成29年度に発生した大型クレーンからの油漏えい事象の対応状況
- (2) 大型クレーンの配備状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 平成29年度に発生した大型クレーンからの油漏えい事象の対応状況について

平成29年度に大型クレーンにおいて発生した次の油漏えい事象について、それぞれ原因及び再発防止対策等を聞き取りした。

ア 600tクローラクレーンからの作動油漏えい事象について

#### (ア) 事象の内容

平成29年6月15日、600tクローラクレーンの使用前点検時にクレーンの作動油リザーバタンクキャップ部から油が漏えいした。

#### (イ) 原因

クレーン点検時の作動油補給過多により、タンクキャップ部から作動油が溢れ、漏えいした。

#### (ウ) 対応

吸着シート及び中和剤により漏えいした油を回収し、作動油をレベルゲージ中央付近になるように油抜きを実施した。また、作動油の補給時に過剰に補給しないようにチェックシートを作成し、補給した際は、レベルゲージを写真撮影することとした。

#### (エ) 水平展開

大型クレーンを取り扱う業者に注意喚起し、上記対策を工事の施工要領書に反映させることとした。

イ 600tクローラクレーンからの作動油漏えい事象について

#### (ア) 事象の内容

平成29年6月20日、600tクローラクレーンの終業点検時に作動油が漏えいした。

#### (イ) 原因

作動油配管接合部のOリングの損傷により漏えいした。

(ウ) 対応

損傷したOリングを新品に交換した。

(エ) 水平展開

大型クレーンについては、メンテナンス強化のための新たな取り組みとして分解点検を計画していることから、当該箇所を含め、分解点検時に通常点検できない部分の詳細点検を実施し、オイルの滲み等の不具合の予兆を早期に発見することとした。

ウ 750 t クローラクレーンからの作動油漏えい事象について

(ア) 事象の内容

平成 29 年 8 月 1 日に 750 t クローラクレーンの作業中に作動油が漏えいした。

(イ) 原因

経年劣化により作動油配管に穴が空き、漏えいした。

(ウ) 対応

配管を新品に交換した。また、当該配管以外で劣化が確認された油圧モーターに接続している配管についても予防として交換した。

(エ) 水平展開

クレーンにおける始業前点検では、エンジンを始動して油圧管や点検部位に油圧をかけた状態で、配管からの油漏れ等の有無を目視点検することとした。また、目視点検時は、油漏れ等が確認された場合に備え、エンジンを停止できる体制にすることとした。

(2) 大型クレーンの配備状況について

福島第一原子力発電所建屋廻りに配備されている大型クレーン 7 台について、概ね東京電力の公表資料のとおり、配備されていることを確認した。  
(写真 1)



(写真 1)

1 号機で使用している 800 t クローラクレーンを撮影

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。